

観光 エキスパート



2026

8

今月の表紙
～埼玉県～



目次

観光白書セミナー2026(視聴無料) 観光庁の担当官によるリアル生講義.....	2
MMPリーダー研修会(リアル) 組織の課題を解決するリーダーを育成する	3
超ケースメソッドの体験 (MMPリーダー研修)	5
第8回 2026年日本観光特産大賞について	7
2026年日本プロモーション大賞について	8
2026年度下期全国一斉資格試験 11月8日(日)開催予定.....	9
観光特産士受験方法の更新 ～親子でも友達同士でも割引! グループ受験～	11
認定講師登録制度のご案内	12
仕事に活かせる MMP グループの活動_第3回 ～人財育成支援事業～	15
資格取得者のご活躍の紹介 ～秋月茶屋から始まる物語～	19
観光プランナー・観光士_通信教育プログラムのご案内	20
観光士・観光特産士・販路コーディネータ資格取得を目指している方は必見	21
観光プランナーを団体で受験を希望される 学校・企業・団体様へ	22
モーイブ(モーニング・イブニング)講座講師募集!	23
MMP 総研 研究員募集 ～MMCO に挑戦する方へ～	24
紙の本と学ぶ映像 MMPコミュニケーション あなたの本を一冊創りませんか	25
JRM プレミア組合員(個人組合員)募集中!	26
MMPグループ・ホームページ & 資格研修スケジュール	27

今月号の表紙 ～埼玉県～

写真上: 長瀨ライン下り

長瀨ラインくだりは、大正4年に始まり、大正12年から秩父鉄道直営となった、歴史ある長瀨の代表的観光です。岩畳と荒川の渓谷美を、船頭の操船で“体感”できることが最大の魅力です。急流のスリルと穏やかな流れの対比、春の新緑、夏の清流、秋の紅葉など、季節ごとの表情も PR ポイントです。単なる川下りではなく、自然・歴史・文化を一度に味わえる“長瀨らしさ”の象徴として訴求できます。

左下: 狭山茶

狭山茶は、鎌倉時代に茶文化が伝わり、江戸時代から埼玉で本格的に広がった歴史あるお茶です。深い味わい特長で、「味は狭山でとどめさす」とも言われます。茶畑の景観、茶摘み体験、製茶見学、試飲を組み合わせた観光特産は、訪れる人を魅了します。

狭山は、稻荷山公園や智光山公園などの緑地も多く、入間川七夕まつりのような地域行事もあり、歴史と季節感を楽しむこともできます。

地域散策で、狭山茶そばや茶飯、お茶漬けのような“お茶の香りをを感じる料理”や狭山茶を使った和菓子やスイーツ、たとえば羊かん、まんじゅう、プリン、ケーキなどを頂く楽しみも最高です。



右下: 草加せんべい

草加せんべいは、宿場町として栄えた草加の歴史とともに育った名物です。日光街道を行き交う人々に親しまれ、醤油の香ばしさと堅い食感で広く知られるようになりました。観光 PR では、草加宿の面影や手焼き体験、草加松原の散策と結びつけると、食だけでなく歴史やまち歩きの魅力も伝えられます。地域文化を味わう観光特産として親しみやすいのが強みです。

【日本観光文化協会 主催】
「観光白書セミナー2026」(視聴無料)
白書を発行した観光庁の担当官によるリアル生講義

《研修概要》

観光白書は観光立国推進基本法の規定に基づき、観光の状況及び政府が観光立国の実現に関して講じた施策並びに観光に関して講じようとする施策について、毎年国会に報告しているものです。

令和 8 年版観光白書では、観光需要が過去最高を更新する一方、宿泊業を中心とした人材不足が深刻化している現状が示されています。本白書は、観光産業の持続的成長に不可欠な「働いてよし」の産業づくりをテーマに、生産性向上・人材確保のための具体的な地域事例を紹介しています。

また、インバウンド拡大と住民生活の質の両立、地方誘客の強化、観光 DX、ユニバーサルツーリズムなど、令和 8 年度の重点施策も明確化されました。本セミナーでは、これらの最新動向と実践事例をわかりやすく解説し、自治体・観光事業者の皆様の戦略づくりに役立つ情報を提供します。



【詳細はこちら】 <https://www.jtcc.jp/event/kankohakusho.html>

◇このような方に最適な研修です

・観光業関係者・自治体担当者(セールスレップ)

宿泊業の人材不足や生産性向上、オーバーツーリズム対策など最新の観光政策を業務に活かしたい方

・大学・専門家・学生

観光政策・地域開発・労働政策を研究する大学の方や、観光学を学ぶ学生、最新データや事例を学びたい方

・事業者・起業家

観光関連ビジネス(飲食、宿泊、体験サービスなど)を運営し、人材確保や生産性向上のヒントを得たい経営者

・地域住民・まちづくり関心者

観光と住民生活の両立や地域の魅力向上に関心があり、まちづくりに参加したいと考える方

・その他、観光に少しでも興味がある方、日本の観光の今を知りたい方、地域の未来に関心がある方など、お気軽にご参加ください。

《講師紹介》 観光庁 當麻江美 講師 / 観光庁 観光戦略課 観光統計調査室室長

《対象者》 どなたでも

《開催日時》 2026 年 8 月 20 日(木)15:30~17:00

《形式》 リアルオンライン(研修終了後に講師と質疑応答を実施)

《料金》 無料

《申込〆切》 2026 年 8 月 16 日(日)

《申込フォーム》 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/kanko/form.cgi>

9 月 12 日 MMP リーダー研修会 (リアル) 組織の課題を解決するリーダーを育成する ～MMP ワンシート企画書の構築～ 浅草台東館にて

2026 年 9 月 12 日 (土) に都立産業貿易センター台東館 (2 階会議室) にて、MMP リーダー研修を実施します。異業種同士でのグループワークを行い、MMP ワンシート企画書を活用して、販路開拓の戦略立案力を磨く研修です。今回のテーマは「三重県熊野市二木島港をモデルケースとした MMP ワンシート企画書活用による地域活性化支援」です。

【詳細はこちら】 https://www.jtcc.jp/event/mmp_bosyuu.html

■ MMP リーダーとは

「商品、販売、販促、技術」の基礎知識の上に立ち体系化した経営戦略、ビジネスプラン、研究開発、販路開拓、商品開発等の事業における実践としての場がマネジメントマーケティングの「MM 会議(MMC)」です。

MMC を研修プログラム化したものが「MMP」であり、従来あるケースメソッドとは異なり、今現在、問題解決を図らなければならぬ課題を解決することが、MMP の本質です。

MMP リーダーは個別チームの進行役のことで「MMP リーダー研修」のカリキュラムで養成されます。



■ テーマと課題

◇ 三重県熊野市二木島港をモデルケースとした

MMP ワンシート企画書活用による地域活性化支援

三重県熊野市二木島港は、豊かな海の恵みと地域文化を受け継ぐ、魅力あふれる港町です。

一方で、人口減少や高齢化、担い手不足といった課題に直面しており、地域の活力をどう高めていくかが問われています。実際に二木島港では、地域を元気づける目的で始まった「朋輩まつり」が継続的に開催され、県内外から来訪者を集める地域雄こしの取り組みが実践されています。

そこでこのたび、二木島港の活性化をテーマに、MMP®リーダー研修を開催します。





当日は、二木島港の強みと課題を共有したうえで、グループワークを通じて、地域活性化の方向性(観光・商品開発)を決定し、その取組みを MMP ワンシート企画書を活用して具体化します。

研修では、聞く力・伝える力・引き出す力を重視しながら、MMP ワンシート企画書の作成と発表を行います。

■ 講師紹介

尾中 謙治 (オナカケンジ)

販路コーディネータ 1 級、JMC 認定講師

シンクタンクにおいて主に1次製品のマーケティング(ブランド化や商品開発、販売促進など)、地域活性化・まちづくり、農商工連携・地域内組織の連携などの調査研究・講演に従事。また、組織論の研究も行っており、組織開発、リーダーシップ・管理職のあり方、コミュニケーションなどについての研修・ワークショップ、公認心理師としてカウンセリングも行っている。



◇実施日時 : 2026 年 9 月 12 日(土) 13:30~16:30

◇会場 : 都立産業貿易センター台東館(2階会議室 A)

◇受講料 : 会員特別価格: 5,000 円(税込 5,500 円) 一般価格: 6,500 円(税込 7,150 円)

※JRM セールスレップ・販路コーディネータ協同組合の組合員は受講料無料

◇受付フォーム : 会員 : <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/k/form.cgi>

※会員とは当協会の資格に登録されている方のことです

一般 : <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/q/form.cgi>

◇受付〆切 : 2026 年 9 月 11 日(金)(入金〆切も同日)

◇MMP リーダー研修について(You Tube 解説)

① 3 分で分かる MMP リーダー研修

<https://www.youtube.com/watch?v=mm8fQ9cPAuI>

② 9 月 12 日開催_三重県熊野市二木島地区の事例(ダイジェスト)

<https://youtu.be/umyw0p4eBss>

超ケースメソッドの体験（MMPリーダー研修）

◇ MMP リーダー研修とは

マネジメントマーケティング(MM)に基づいた能力開発プログラムで、専用ツールや戦略会議(MMC)を活用しながら、課題の抽出から解決・実行までの一連の思考と意思決定プロセスを学ぶ研修です。

従来のケースメソッドを発展させた「超ケースメソッド」により、実践的な戦略立案力を養います。

また、MMP の普及を目的に、各地域で研修を実施できるリーダーの育成も重視しており、異分野の専門家との交流や人脈形成の機会も提供されます。リーダーは自身で研修を企画・実施でき、協会のツール(ワンシート企画書や戦略シートなど)を活用して柔軟に内容を設計できます。特にワンシート企画書は、簡潔かつ分かりやすく企画意図を伝える手法として有効です。

事前講義をもとに「MMP ワンシート企画書」の作成と事業計画の立案を行い、それに対して講師が評価・アドバイスを行うプログラム研修です。戦略・企画会議を想定したグループワークによって、自分がプロジェクトのリーダーとして MMP 戦略会議を開催・実施する際のイメージをつかむことができます。

研修に 2 回参加の上、1 回の論文を提出すると「MMP リーダー」として認定され、認定証が発行されます。



【お申込み・詳細情報はこちら】

https://www.hanro.jp/event/mmp_bosyuu_setumei.html

【3分で分かるMMPリーダー研修】MMPコミュニケーションCH

<https://www.youtube.com/watch?v=mm8fQ9cPAuI>

【9月12日開催_三重県熊野市二木島地区の事例(ダイジェスト)】

<https://youtu.be/umyw0p4eBss>

■ このような方に最適な研修です

- ◇ 課題は見えているが、具体的な解決策を導き出す力が足りないと感じている方。
- ◇ 戦略を描くだけでなく、実行まで推進したい方。
- ◇ チームを率いるリーダーとして、確実に成果を生み出したい方。
- ◇ 立場の異なる関係者と折衝しながら、プロジェクトを前進させたい方。

■ 受講者の声

- ◇ MMP グループの仕組み体制を全く理解できていない中での参加でしたが、とても勉強になり、異業種の方と交流ができて有意義でした。(観光士)

- ◇ これまで以上にもっと学び、地方創生の一助として貢献したい気持ちが改めて湧いてきました。
(商品開発コーディネーター)
- ◇ 課題の内容について詳しく説明と具体例を提示いただき、課題を行うためのイメージを持つことができました。(販路コーディネータ)

■ MMP リーダーとは

「商品、販売、販促、技術」の基礎知識の上に立ち
体系化した経営戦略、ビジネスプラン、研究開発、販
路開拓、商品開発等の事業における実践としての場
がマネジメントマーケティングの「MM 会議(MMC)」で
す。MMC を研修プログラム化したものが「MMP」であ
り、従来あるケースメソッドとは異なり、今現在、問題
解決を図らなければならない課題を解決することが、
MMP の本質です。

MMP リーダーは個別チームの進行役のことで
「MMP リーダー研修」のカリキュラムで養成されます。最大の役割は、コーディネーターとしての役割をよく理解
し、グループ討論を実りある討論にし、参加者それぞれが何かを得られる場を提供することです。チームリーダー
研修の経験を積み、ある程度のレベルになると更にワンランク上の統括リーダーの活動が要求されます。

また、MMP リーダーになると、MMP ワンシート企画書や MMP 戦略シート A・B など、自分の持つ MMP グループ各資格の MMP ツールを活用して MMP 研修を実施できます。



■ MMP やリーダー研修などの専用の質問フォームを作成しました。

以下の URL もしくは、QR コードからアクセスしていただき、MMP やリーダー研修などの「解らないこと」がありましたら、ご質問をください。
皆さんのご意見をお待ちしています。

観光・観光特産に関する質問はこちら

<https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mmpr/form.cgi>

販路・セールスレップ・商品開発・プロモーションに関する質問はこちら

<https://www.hanro.jp/cgi-bin/mmpr/form.cgi>



第 8 回 2026 年日本観光特産大賞について

一般社団法人日本観光文化協会は、今年で 8 回目になる、全国の観光特産品の知名度・ブランド力向上を目的とした観光特産品の表彰制度「日本観光特産大賞」の開催を決定しました。HP の応募フォームより 2026 年 8 月 1 日(土)よりノミネート募集を開始します。【詳細はこちら】 <https://jtmm.jp/award/>



◆日本観光特産大賞とは



「日本観光特産大賞」とは、毎年 12 月に一般社団法人日本観光文化協会が、食と観光、地元グルメ、お土産品などでその年話題になった観光特産品を表彰してゆく制度です。受賞品は 2027 年 1 月に

表彰します。

観光でその地域を訪れたいと望む人々にとっては、その地域が選択に値する魅力あるものが存在していることが重要となるため、一般社団法人日本観光文化協会では「観光特産」を「観光資源と地域特産の融合によって生み出された商品及びサービス」とであると定義しています。

◆観光特産とは

当協会において「観光特産」とは、「観光資源と地域特産の融合によって生み出された商品及びサービス」のことで、「**観光特産＝観光資源×地域特産**」という公式で定義しています。

日本観光特産の表彰については、以下の基準があり、この中のいずれか基準に達していることが必要です。

1. 観光資源(5 体系)を活用した地域の特産品、特産物であること。
2. 特徴的、差別化された「コトづくり」及び、「場おこし」の活動を行っていること。
3. 食と工芸、そして観光、地元グルメ、お土産品などで、今年話題になった、特産品、特産物開発であること。

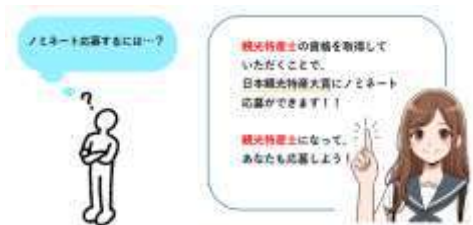
◆「地元の観光特産」を推薦しよう！

日本観光特産大賞エントリー応募は8月上旬から始まります。

推薦する特産の写真などは、応募フォームの「参考 URL」の項目に、下記のいずれかの URL を載せて応募します。

- ① 掲載されている参照先のページリンク
- ② インターネットのオンラインストレージ(例 <https://firestorage.jp/> など)にアップロードしてそのリンクを直接貼り付けて、お送りください。

※MMP グループ内の日本観光士会資格、商品開発士会資格、販路コーディネータ資格、セールスレップ、営業士、プロモーション資格のいずれかをお持ちの方も、応募することが来ます。



2026 年日本プロモーション大賞について

■日本プロモーション大賞とは

「日本プロモーション大賞」は当協会の「商・販・販促・マネジメント」という視点からの賞です。これは、販売促進、広告宣伝、広報部門等の担当者にとって必要不可欠な、イベント、プロモーションやマスメディア、SP メディアなどの知識です。実際のところ、広告代理店や印刷会社の方に必要な知識はクライアント側に立った「商品開発」「販売」「販売促進」「マネジメント」の知識です。



このことを広く認識していただくために、当協会員だけでなく、一般企業・団体の販売促進、広告宣伝、広報部門等や広告代理店、印刷会社、その他制作会社等が企画実施する販促活動（広報を含む活動）の事例を自薦・他薦問わず広く募集しました。この審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰、公開するものとして実施しています。受賞作は 2026 年 12 月に発表します。

【詳細はこちらから】 <https://www.jsp.or.jp/award/>



■日本プロモーション大賞 2025グランプリ

『輝・輝姫・煌』石川県産水産物のトップブランド戦略

◇受賞団体 おいしかわ県 PR 協議会



■金賞 優秀賞

「西伊豆 & ANGLER」

◇受賞団体 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン/西伊豆町

《2025 年プロモーション大賞の詳細はこちら》

<https://www.jsp.or.jp/award/2025.html>

■プロモーション大賞の審査基準：審査は、以下の 5 つの観点で評価します。

1. 創造性 (Innovation)：新しい発想を取り入れているか／独自性があるか
2. 話題性 (Buzz & Engagement)：メディアや SNS で話題を生み出したか／共感を得られたか
3. 効果 (Impact)：目標を達成したか／成果がデータで裏付けられているか
4. 持続可能性 (Sustainability)：長期的な影響を持つか／環境・社会・経済に配慮しているか
5. 適用可能性 (Scalability)：他社への応用可能性があるか／今後の参考になるか

上記 5 つの観点をもとに、審査委員各自の採点によって賞が決定いたします。優秀エントリーには、グランプリ、金賞、優秀賞の各賞を表彰いたします。現在、エントリーは準備中ですが、皆さん参加を期待しております。

2026 年度下期全国一斉資格試験 11 月 8 日(日) 開催予定

MMP グループでは、2026 年度下期の「全国一斉資格試験」を
11 月 8 日(日)に開催が決定しました。

「観光士」「観光特産」「商品開発」「営業販売」「販促広報」「マネ
ジメントマーケティング」資格について、オンラインで実施します！

試験はオンラインで行われ、ラジオボタン、チェックボックスのフォ
ームで答えを選択する選択問題です。

日本観光士会では、「観光プランナー」、「観光士」、「観光コーデ
イナー」の3資格、全国観光特産士会では、「観光特産士 4 級」、
「観光特産士 3 級」、「観光特産士 2 級」、「観光特産マイスター」の4資格を認定しています。



◆ 観光士会資格について

これからの観光は、ますます地域が一体となって取り組むべきものとなっています。そのため、「まちづくり、村おこし」から「街づくりの3ステップ」(地域ネットワークづくりと人材育成といった受け入れ態勢の充実化、地域資源の収集・発掘・整理、商品化システムの構築)、そしてエリア・アイデンティティ＝地域ブランドを確立していくことのできる観光コーディネーターの役割が重要となります。観光学や観光マーケティング、観光ビジネス論などの知識習得のみに留まらない、よりプロデューサー的な視点が求められており、日本観光士会ではそういった内容が学べます。

日本観光士会では、「観光 5 資源体系」によって地域を分析・評価し、観光資源の発掘と場おこしを進めながら取り組める人材、変化した価値観やライフスタイル、観光 DX や MaaS などにも対応した新しい観光マーケティングを提案し、その地域ブランドを確立していける人材を育成しています。また、キャリアアップやリスキリングに役立つカリキュラムを提供しています。

たとえば観光庁が指摘する課題に対しては、関係者の巻き込みが不十分などは、協会の観光資格では「まちづくりの3ステップ」などによる課題解決への提案をしているなど、実践的なアプローチを学んでいただくことで、観光庁が期待する日本版DMOの形成・確立を支援できる人材を目指すことができます。

取得された方は現在、観光協会など官民間問わず多くのアドバイザー、大学講師などとして活躍しています。観光に関する7資格以外の公認資格は、セールスステップ資格(3資格)、営業士資格(3資格)、商品開発資格(3資格)、プロモーション資格(3資格)、マネージメントコーディネーター資格(1資格)が準備されています。



観光士 観光コーディネーター
日本観光士会

観光関係を含めて、各資格の試験情報は以下 URL からご確認ください。

◆観光プランナー	https://www.jtcc.jp/kankoshiho/shiken.html
◆観光士	https://www.jtcc.jp/kankoshi/
◆観光コーディネーター	https://www.jtcc.jp/kanko_coordinator/shiken2.html

◆観光特産士 4 級	https://jtm.jp/tokusan4/
◆観光特産士 3 級	https://jtm.jp/tokusan3/
◆観光特産士 2 級	https://jtm.jp/tokusan2/
◆観光特産マイスター	https://jtm.jp/tokusanmeister/

◆販路コーディネータ3級	https://www.hanro.jp/shikaku/cd3.html
◆販路コーディネータ 2 級	https://www.hanro.jp/shikaku/cd2.html
◆販路コーディネータ 1 級	https://www.hanro.jp/shikaku/cd1.html

◆セールスステップ3級	https://www.jrep.jp/shiken/siken_3rd.html
◆セールスステップ 2 級	https://www.jrep.jp/shiken/siken_2nd.html
◆セールスステップ・マイスター	https://www.jrep.jp/shiken/siken_1st.html

◆営業士初級	https://www.nrep.jp/shiken/shiken_shokyu.html
◆営業士上級	https://www.nrep.jp/shiken/shiken_jyokyu.html
◆営業士マスター	https://www.nrep.jp/shiken/shiken_master.html

◆商品プランナー	https://www.jmcp.jp/course/planner/planner.shiken.html
◆商品開発士	https://www.jmcp.jp/course/product_planning/
◆商品開発コーディネーター	https://www.jmcp.jp/product_coordinator/

◆プロモーション・プランナー	https://www.jsp.or.jp/shiken/beginner.html
◆プロモーション・プロデューサー	https://www.jsp.or.jp/shiken/intermediate.html
◆プロモーション・コーディネーター	https://www.jsp.or.jp/shiken/advanced.html

◆マネジメントマーケティング・コーディネーター	https://www.jtcc.jp/shikaku/mmco.html
-------------------------	---

観光特産士受験方法の更新 ～ 親子でも友達同士でも割引！グループ受験 ～

◆グループ受験と団体受験の違い

団体受験は、学校・学習塾・企業などの団体が受験者を取りまとめて申込みを行う受験方法です。原則 5 名以上でお申込みいただけるほか、団体側で受験日時や会場(準会場)の設定が可能です。

一方で、グループ受験は、親子・友達同士・同僚など、2 名以上の少人数からご利用いただける割引制度です。決まった日程で実施される一斉試験に参加する形式で、会場や日時の指定はできません。

なお、割引率は団体受験・グループ受験ともに同じです。

◆グループ受験

観光特産士®検定を 2 名以上で一緒に申し込むと、受験料が割引になります。一斉試験におきましても、同じグループとしてお申し込みいただくことで**割引料金**が適用されます。

2 名以上なら人数にかかわらず、親子、友達同士、同僚など身近なメンバーで一緒にお申込みいただけます。

【詳細はこちら】 <https://jtm.jp/group/>



◆団体受験

団体受験とは、学校、学習塾、企業など団体単位で受験者を取りまとめ、申込みいただく受験方法です。下記の全国観光特産士®検定試験が対象となります。学校や学習塾に全国観光特産士®検定を団体で受験したい先生や生徒さんは、下記受験の詳細をお問い合わせください。企業、団体などでの受験も同様とさせていただきます。

1. 学校、学習塾、企業などの団体で原則 5 名以上集まれば、団体受験として申込みが可能です。
2. 受験者には、年齢などの制限はありません。申込団体の関係者であれば、どなたでも受験可能です。
3. 受験日当日は、それぞれの団体で用意する準会場(認定会場)で行っていただきます。
4. 一斉試験では、当協会が開催している 6 月、11 月の日時以外でも指定が可能となります。ご相談ください。
 - ※団体受験では、試験監督を 1 名置いていただく必要があります。
 - ※申込責任者に団体の取りまとめをお願いいたします。
 - ※申込責任者は受験できません。
 - ※団体受験は、全国観光特産士®検定試験 4、3 級のみが対象となります。

多くの学校、関係企業・団体、社会人、学生などを対象に「観光特産士®検定」として親しまれるように活動する資格として定着化を目指しています。

【詳細はこちら】 <https://jtm.jp/dantai/>



認定講師登録制度のご案内

MMP 総研では毎年度、企業及び公的研修、資格認定研修プログラムや MMP®等の認定講師を認定しています。協会からの各都道府県の派遣者講師、東京都中央会などの専門家派遣の方々などは、認定講師登録者が条件となっており、協会認定講師の方は各産業界で幅広く活躍されています。ご活躍されている認定講師の方をご紹介します。



▶ 認定講師登録制度

(一社)日本販路コーディネータ協会では、認定講師制度として「ミドル認定講師」、**「エグゼクティブ認定講師」**の2つのランクを設けています。

自身のスキルを高め、実績を積み重ねることで、「ミドル認定講師」から**「エグゼクティブ認定講師」**へとステップアップできます。



ミドル認定講師は**3級**を、エグゼクティブ認定講師は**3級と2級**の両方を指導できます。

認定講師ランク	所持資格級	指導可能級	特典
ミドル認定講師	1級レベル資格 MMCO	3級	—
エグゼクティブ認定講師	ミドル認定講師 MMP総研研究員	3級、2級	年間更新料無料、 協会講師推薦制度あり

■ミドル認定講師とエグゼクティブ認定講師の資格認定の登録制度

観光士会	https://www.jtcc.jp/event/koushi.html
場おこし認定講師	https://jtmm.jp/baokoshi-nintei/
販路コーディネータ	https://www.hanro.jp/event/koushi.html
セールスレップ	https://www.jrep.jp/inforep/koushi.html
営業士会	https://www.nrep.jp/eigyoushi_info/koushi.html
商品開発	https://www.jmcp.jp/koushi/
販売促進	https://www.jsp.or.jp/event/koushi.html

■ミドル認定講師・登録制度の概要**◇ ミドル認定講師とは**

企業、専門学校、大学を対象とした、販路コーディネータ 3 級レベルの研修を行うことができる認定講師です。MMCO 資格保有者であって、ミドル認定講師養成研修受講の講師であることを基本としています。

◆日本販路コーディネータ協会 認定講師紹介 <https://hanro.jp/jmc/leader.html>

◆日本観光士会 認定講師紹介 <http://www.jtcc.jp/koushi/index.html>

◇ 本格的な企業研修、学校教育

認定講師は事務局に届出の上、公式テキストを使用した企業内研修を開催できます。

本格的な企業研修、学校教育では、

- ① 3 級研修講師は MMCO 資格取得者で、ミドル認定講師が必須条件となっています。
- ② 研修内容は、相手先の要望に合わせることができます。また、実施時には協会の研修ツールを随時、分野ごとに各研修先企業に合わせて編集しますが、その著作権等は協会に帰属しています。
- ③ テキストは、書籍、公式テキスト、事例問題、DVD などが協会から発行されているものに遵守します。

◇ 参加資格 MMCO 資格を取得している方

【MMCO 取得はこちら】 <https://www.jtcc.jp/shikaku/mmco.html>

◇ 登録台帳および名簿の作成等

講師登録者の氏名等は、本協会備え付けの講師登録者台帳に記帳します。

※講師は 3 級レベル、2 級レベル、1 級レベル向けごとの登録制度としています

(2 級レベル講師登録者は 3 級レベルの資格研修を行うことができます)。

※各地域の JMC 認定研修センターにおいては、每期ごとに 3 名以上の講師登録者の申請、在籍を必須としています。 ※講師は年度ごとに更新が必要です。

◇ 認定講師の活動分野について

(一社) 日本販路コーディネータ協会のカリキュラムに沿った講師活動が認められる。

民間企業向けカリキュラム研修講師など

- ・認定登録者向け研修: (一社) 日本販路コーディネータ協会 MM 戦略会議研修及び研修カリキュラム講師等
- ・民間企業研修: (一社) 日本販路コーディネータ協会 3 級、2 級、1 級研修プログラム、MM 戦略会議研修及び企業研修カリキュラム講師等
- ・民間企業合同開催研修: (一社) 日本販路コーディネータ協会 3 級、2 級、1 級研修プログラム、MM 戦略会議研修及び企業研修カリキュラム講師等

◇ 公的機関等の研修講師など

公的研修: 国、地方自治体、公共団体、外郭団体及びそれらに準じる組織、団体向け (一社)

日本販路コーディネータ協会研修カリキュラム講師など

◇ 学校教育授業教育など

(一社) 日本販路コーディネータ協会カリキュラムでの授業教育

高校・専門学校学校向け: 単教科 ・・・ビジネス基礎教育向け

大学・専門学校等教科向け: 販路コーディネート等・・・選択科目向け

◇ 認定研修センターの開設について

研修生の教育にあたっては、認定教育機関は各都道府県ごとの(複数センター開設可)研修センターとし、センターにおいては販路コーディネータについての広く深い理解と専門力を養い、その知識を高めると共に、普及啓蒙活動に努めることをその研修方針としています。

また、(一社) 日本販路コーディネータ協会においては、必要な専門的知識、技能を修得させると共に、技能者として必要な本分野におけるビジネス知識を高めることをその研修方針としています。

認定教育機関の開設にあたっては、(一社) 日本販路コーディネータ協会に申請書と認定教育センター連携計画書をご提出いただき、認定教育センター指定のご契約をさせていただきます。

認定研修の開講については、事前に(一社) 日本販路コーディネータ協会が審査を行います。

■ (一社) 日本販路コーディネータ協会認定研修センター申請について

- (1) 認定研修センター登録申請書の提出と審査
- (2) 認定研修センター年間計画書提出と契約書締結
- (3) 教育機関講師登録申請と手続きについてのご案内送付
- (4) 講師登録の届出

本制度に関するお問い合わせは、「MMP®総研」までお願いいたします。

【お問い合わせ】 <https://www.jnmp.jp/contact/index.html>

仕事に活かせる MMP グループの活動__第3回 ～ 人財育成支援事業 ～

MMP グループの活動は、「資格検定」「人財育成支援」「ビジネス支援」「出版・ツール制作」という 4 つの柱で構成されています。その中でも「人財育成支援事業」は、企業が求める「即戦力の人材」を、資格と連動した教育プログラムを通じて育成する仕組みです。

◇ 資格検定事業 : 7 つの資格検定において資格検定を展開しています。

◇ 人財育成支援事業 : 企業、専門学校などの人材の能力開発を行っています。

◇ ビジネス支援事業 : 公的販路開拓、
地域活性化などのマッチング事業を行っています。

◇ 出版事業・ビジネスツール制作事業 :
資格関連分野で書籍作成事業を行っています。

第 3 回では、仕事をする事業主・経営者・管理職の視点から、「人財育成支援事業をどう活用できるか」を整理します。



I、人財育成支援事業の役割 : 実務と資格を一本化する

MMP グループの「人財育成支援事業」は、企業・専門学校・公的支援機関などを対象に、以下のような支援を提供しています。

- 商品開発・営業・販売促進・観光など「実務と直結した研修・教育コンテンツ」
- マネジメント・マーケティングスキル、超ケースメソッドスキル
- 商・販・販促スキル(商品開発・販売営業・販売促進)の総合的な向上
- 「研修受講+資格取得」をセットにした、社会人向けのキャリアアッププログラム



事業主・経営者からすると、これは「**自社の事業課題や育成方針に合わせて、研修を設計し、かつ資格という『共通言語』で能力を可視化できる**」仕組みと捉えることができます。

Ⅱ、具体的な研修メニュー例 : 仕事に直結する設計

MMP グループでは、以下のような研修メニューが展開されています。

(1) MM 戦略会議研修(営業研修とセット)

- 営業担当者、販路開拓担当者向け
- 事例ベースの「MM 戦略会議」を通じて、商品・販路・販促の戦略を討議・設計する実践型研修
- 研修受講後に資格認定試験受験に結びつく構造も用意

(2) 販路コーディネータ認定研修プログラム

- 企業内マーケティング、コンサルタント、行政支援機関担当者など
- 製品評価・商品・販売・販促・技術戦略の計画構築
- 販売チャネル(販路)の選定と開拓戦略
- 通学コース・通信コースの両方で「研修＋小試験」による資格取得が可能



(3) 商品開発士・商品プランナー認定研修

- 商品企画・開発担当者、地域産業振興関係者など
- 商品プランナー(企画)、商品開発士(企画＋開発)、商品開発コーディネーター(調整・指導)の各レベルに応じたスキル養成
- 研修＋資格認定小試験、または試験のみのルートで取得可能

事業主としては、これらの研修を「**自社の商品開発・営業・販路開拓プロジェクトとセット**」で設計し、**社員が研修を受けながら資格を取得する**仕組みにすることで、**学習と実務の一体化を実現**できます。

Ⅲ、資格の連携構造 : 複数資格を組み合わせる「チーム設計」

MMP グループの特徴は、「単独の資格取得」ではなく、「複数の資格を組み合わせることで、実務プロジェクトを回せる人材・チームを育成する」点にあります。

(1) 商品開発系(日本商品開発士会)

- 商品プランナー → 商品開発士 → 商品開発コーディネーター → MM コーディネーター
- 企画から開発、さらにプロジェクト調整・経営視点までを段階的に習得

(2) 販路系(日本販路コーディネータ協会)

- 販路コーディネータ 3 級／2 級／1 級
- 商品企画・製品開発から販売チャネル戦略までを一気通貫で設計できるマーケティング資格
- 上位に「マネジメントマーケティング・コンサルタント」を位置づけ



DEVELOPMENT

(3) 営業・販売系 (日本セールスレップ協会、日本営業士会)

- セールスレップ、営業士
- 実務の営業・販売代行を担う人材向け
- 販路コーディネーター (戦略) とセールスレップ・営業士 (実行) の役割分担で、プロジェクトチームを組みやすく設計

(4) 販売促進系 (日本販売促進協会)

- プロモーションプランナー
- 販売促進・プロモーション企画を担う人材向け
- 商品開発系・販路系をつなぐ「中継」の役割

(5) 観光系 (日本観光文化協会、日本観光士会、日本観光特産士会)

- 観光コーディネーター、観光士、観光特産士
- 地域観光・観光商品・イベント企画、地域特産品 × 観光の商品開発などを担う

以上の資格コンテンツを組み合わせてプロジェクトチームを編成する例：

- 「観光特産士 + 商品開発士 + 販路コーディネーター」
→ 地域特産品の観光商品化プロジェクトを担うチーム
- 「商品開発士 + 販路コーディネーター + プロモーションプランナー」
→ 新商品上市プロジェクトを、企画・販路・販促の 3 点でワンストップ設計

事業主としては、こうした「**資格の組み合わせ＝プロジェクト役割**」を意識して、**自社の育成計画やプロジェクト体制を設計**することができます。

IV、事業主・経営者が活用する際のポイント

(1) 「課題→資格→研修」の順で設計する

- まず自社の事業課題 (例: 新商品が売れない、販路が限られている、地域連携が弱い) を整理
- その課題解決に必要な役割 (商品企画、販路設計、営業実務、販促設計など) を特定
- それに対応する MMP の資格群を選び、研修 + 資格取得のプログラムを従業員に提供

(2) 「資格取得＝能力の共通言語化」として活用

- 資格を持つことで、社内外で「何ができる人材か」を共通認識にしやすい
- 採用・配置・評価において、資格を一つの基準として活用可能

(3) 公的支援・地域活性化事業との連携

- MMP グループは、公的販路開拓支援や地域活性化のマッチング事業も展開
- 資格取得者を、こうしたプロジェクトに配置することで、実務経験と実績形成を同時に進められる

V、継続的なネットワークとキャリア形成

MMP グループでは、資格登録者向けに以下のような継続学習・交流の場も用意されています。

- MMP 研究会・全国研究会などのセミナー・勉強会(会員割引あり)
- 異業種・異資格間の交流を通じた、実務連携の創出

事業主としては、**自社社員がこうしたネットワークに参加することで、他社・他業界の知見を積極的に取り入れ、自社の事業開発につなげる**ことも可能です。

◆ おわりに

「学ぶ・資格を取る・実務で使う」を一体化する

MMP グループの人財育成支援事業は、単なる「研修提供」や「資格付与」ではなく、「学ぶ・資格を取る・実務で使う」を一体化させる仕組みです。

事業主・経営者としては、この仕組みを

「自社の事業課題解決と人材育成の両方に活用するインフラ」と捉え、計画的に組み込むことで、組織全体の競争力を高めることができます。

MMP グループの人財育成支援事業に参画し、分野を超えた多角的なマーケットで活躍するためにも「マネージメントマーケティング(MM)」の基本的な考え

「経営ビジョン、経営計画を含むあらゆる事業活動において

マーケティングは常に先行し、新たなマネジメントを創出することである」

という言葉を呪文のごとく唱えることで、一本化されたプロセスを実践することが可能となると考えています。



資格取得者のご活躍の紹介 ～ 秋月茶屋から始まる物語 ～

■福岡県・秋月 地域文化を体験化する ARG 観光コンテンツの創出

観光士として活動する合同会社未来アクセラレート代表の吉野渉さんは、地域の環境・文化をテーマにした体験型コンテンツの開発に取り組んでいます。同社が運営する環境ミステリーレーベル「MARGINE(メルジーン)」では、地域の魅力を“体験”として学べる ARG(代替現実ゲーム) を制作しています。



■2026 年に謎解き ARG 体験キットをリリース

2026 年には、福岡県朝倉市・秋月を舞台とした「秋月の茶屋から始まる物語」をリリースしました。本作品は、地域の歴史や環境を題材にしながら、ネガティブ要素やジャンプスケアを排除した「ポジティブな謎解き体験」を提供することを特徴としています。

楽しみながら地域への理解が深まる、新しい観光マーケティング手法として注目を集めています。

■コンテンツの概要

福岡県朝倉市・秋月の魅力を、物語と謎解きで楽しめる観光 PR 施策「秋月の茶屋から始まる物語」。

元秋月藩士の記憶をたどり、茶屋系 VTuber・秋月みいひとともに城下町を巡ることで、歴史や文化を自然に体験できます。地域の風景に物語性を加え、訪れる人の興味を引き出す新しい周遊コンテンツです。

アクセラレート代表・吉野渉さんの思いは、秋月の歴史や文化、町に眠る“想い”を物語として伝え、もっと多くの人に秋月を知ってもらいたい、という点です。

単なる観光案内ではなく、謎解きとデジタル体験を通じて、地域の魅力を自分ごととして感じてもらうことを目指しています。



【詳細はこちら】

<https://www.jtcc.jp/kankoshi/shokai2.html>

【メルジーンの秋月茶屋の HP】

<https://margine.earth/news/akizuki/>

【秋月の観光 HP】

<https://www.akizuki.co.jp/>

観光プランナー・観光士__通信教育プログラムのご案内

■通信教育プログラムのご案内 ～通信講座と試験で資格を取得する～

ご自身の生活スタイルに合わせて学ぶことができ、何度も DVD を見返して学びを深めることができます！

【通信講座のメリット】

ご自身の生活スタイルに合わせて学ぶことができ、何度も DVD を見返して学びを深めることができます！

流通・旅行など幅広い利式を習得、観光業界への就職を目指す！

観光プランナー・観光士は旅行・流通・フードビジネス、観光関連などの仕事に生かせる資格として注目を浴びています。この講座で、新しい観光メニューを開発・立案するための基礎知識、まちおこしや観光の活性化の実践に役立つ知識が学べ、就職や転職にも生かれます。終了後、日本観光士会の「観光プランナー」「観光士」取得が目指せます。

◇観光プランナー 通信講座

【実施要項及びお申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/kankoshiho/tushin.html>

【お申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/e3/form.cgi>

◇観光士 通信講座

【実施要項及びお申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/kankoshi/tushin.html>

【お申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/e2/form.cgi>



観光士・観光特産士・販路コーディネータ資格取得を目指している方は必見

WW型 他資格取得編入制度・ダブルライセンス割引

日本観光士会・全国観光特産士会・販路コーディネータ協会複数資格取得を目指している方に吉報です。

【概要】

MMP グループでは、学習を支援する優遇制度が設けられており、各資格の最上位級の1級及びコーディネータは、他の資格の2級から受験、受講できます。

自分がやりたい分野の資格を取得し、次に挑戦できる資格を見つけることができるのがMMP グループです。



WW 型 他資格取得編入制度を利用すると、①初級レベル試験免除、②2 資格目取得以降の初回登録料免除といったダブルライセンス割引が適用されるメリットがございます。

＜ダブルライセンス制度の詳細＞ <https://www.jtcc.jp/seido.html>

【① 初級レベル試験免除について】

例えば日本観光士会の観光コーディネーターが、販路コーディネータの資格を取りたいと希望した場合、販路コーディネータ3級の資格試験が免除され、2級から試験を受験、研修を受講することができます。

【② 初回登録料免除、年会費(資格更新料)の取り扱い】

通常ですと資格取得後に初回登録料が発生しますが、WW 資格優遇制度では2 資格目取得以降の初回登録料が免除されます。

※ただし、年会費(13,200 円税込/1 年毎)のみお支払いいただきます。

なお、コーディネーターレベルの資格を取得されましたら、2 資格目以降の年会費も免除され、最初に取得した資格の年会費(1 年毎)のみ発生します。

【利用方法】

本制度を利用する方はまず、いずれかの資格の 1 級レベルの試験(観光コーディネーター、観光特産士マイスター級、商品開発コーディネーター、販路コーディネータ 1 級、営業士マイスター、セールスステップマイスター、プロモーションコーディネーター)に合格し、2 つ目以降に受けたい資格の申込フォームの通信欄に、最上位の資格名と認定番号を記載してください。また、事務局お問い合わせフォームより、申し込み希望の旨をご連絡ください。

観光プランナーを団体で受験を希望される 学校・企業・団体様へ

会員の方で学校関係、大学や専門学校で、団体で受験したい先生や生徒さんは、下記にある受験の詳細からお問い合わせください。企業、団体などでの受験も同様とさせていただきます。

【詳細はこちら】 https://www.jtcc.jp/kankoshi/kankoushi_dantai.html



■ 学校、学習塾、企業などの団体で原則5名以上集まれば、団体受験として申込みが可能です。

・一斉試験(団体)…10%割引

・研修小試験(団体)…20%割引

■ 受験日当日は、それぞれの団体で用意する会場(認定会場)で行っていただきます。

■ 一斉試験では、当協会が開催している 6 月、11 月の日時以外でも指定が可能となります。ご相談ください。

※ 初級のみ日時指定可となります。

※ 団体受験では、試験監督を 1 名置いていただく必要があります。

※ 申込責任者に団体の取りまとめをお願いいたします。

※ 申込責任者は受験できません。

■ 団体申込みには、下記「団体控除(学生の場合の割引参照)」が適用されます。旅行代理店様、交通機関様、観光サービス業者様、流通・フード関連企業様、その他関連企業様など団体単位でのお申込みも割引適用(10%団体割引)としております。

■ プランナー研修・試験合格者は、観光士研修・試験に進むことができます。団体受験・受講手続き方法
企業、団体等で受験・研修受講される場合は、上記の内容をご確認いただき、お問い合わせフォームからご申請ください。

■ 観光士研修・試験に進む方は資格登録が必須となります。

■ 特典_5名以上の場合の団体受験、お申し込みについての割引適用

■ 受験手続：学校、企業、団体等で受験・研修される場合は、下記の内容をご確認いただき、申込責任者の方が

下記のお問い合わせフォームよりご申請ください。

【詳細はこちら】 https://www.jtcc.jp/kankoshi/kankoushi_dantai.html

【お問い合わせ先】 日本観光士会 一般社団法人日本観光文化協会内アクセス

【お問い合わせフォーム】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi>

モーイブ(モーニング・イブニング)講座 講師募集！



通勤通学時間を利用したスマホ視聴で認定資格講座が1ヶ月で学べる「モーニング・イブニング講座」が、いよいよ今期から開催されました。

MMP 総研は、社会人教育の基礎講座として「商品開発」「販路コーディネータ」「販売促進・広報」「観光コーディネータ」など 7 つの講座をモーニング・イブニング講座として開講しています。

MMP 総研の通学通勤講座「モーニング・イブニング講座」は1か月で学べ、朝と夕方の通勤電車の中でスマホを使って講義を視聴でき、しかも小試験も通勤中に手軽にできるという、正に「OMO (Online Merges with Offline)」デジタル(オンライン)を前提として、リアルの世界(オフライン)もデジタルの中に包含して捉えようという考え方を取り入れた画期的な講座です。

法人・団体において、人材育成のオンライン化、リスクリッジといった需要に対応しており、販売力、システム力、コンテンツ力、組織力を高めるお手伝いをしています。もちろん個人の学習にも対応しています。

「モーニング・イブニング講座」とは、「モーニング講座コース：平日 AM6 時～9 時迄」「イブニング講座コース 平日 AM11 時～PM9 時迄」の時間帯を設定し、資格別・コース別に講師が担当する講座です。資格の勉強を始めたけれど、忙しくてその一歩が踏み出せない。

そんな悩みを解決するために生まれたのが、忙しい人専用の学習法「スタディング」です。これは「いつでも、どこでも、学べる」講座です。

そのような「モーニング・イブニング講座」の講師をやってみませんか？

MMP グループの資格を持っている方なら、だれでも応募できます。新しいチャレンジにジャスト・トライ・イット・・・。

【詳細はこちらから】 <https://www.jmmp.jp/study/index.html>

【研修講座のご案内】 <https://jmmp.jp/study/hanro/shikaku.html>

【モーイブ講座の講師を希望の方はここからの問い合わせから】

<https://www.jmmp.jp/cgi-bin/institute/form.cgi>



MMP 総研 研究員募集 ～MMCO に挑戦する方へ～

最上位資格者は、MMCO (マネージメントマーケティング・コーディネーター)を受験することができます。さらに、MMCO 資格者は、他の条件(下記)を取得すると研究員に応募できます。



MMP®総研は、「一般社団法人 JMC 日本販路コーディネータ協会」及び「一般社団法人 JTCC 日本観光文化協会」を核に、調査・研究活動等に取り組んでいます。当研究所の名称でもある MMP®は、マネージメントマーケティング・プログラムの略称であり、当グループのコンセプトである「モノづくり、コトづくり、場おこし」＝「人づくり」や、MM (マネージメントマーケティング)の考え方をベースにした MMC、MMP®の普及を目指している。学生やビジネスパーソンの成長を広く支援することこそが、MMP グループに与えられた大きな取り組みのテーマであると考えています。

【詳細はこちらから】 <https://www.jmmp.jp/research/index.html>

【事業ミッション】「コトづくり、モノづくり、バおこし、人づくり」

「コトづくり、モノづくり、バおこし」における継続的な人材育成連携ネットワークを目指す。MMP 総研から各学校への授業講師派遣、各都道府県への講師派遣も行っている。

【MMP®総研の役割】

- (1) 人材育成の在り方の調査・研究と必要な教材の開発
- (2) 人材育成講座の研究、開発、実施
- (3) 専門家集団としての資質の向上
- (4) MMP®研究の募集と評価
- (5) コンサルティング技法の研究・開発
- (6) 研究・開発の登録及び内外への啓蒙活動
- (7) マネージメントマーケティングに関する情報の収集及び分析
- (8) 中小企業経営、マーケティング、販路開拓、商品開発支援活動
- (9) マネージメントマーケティング・コーディネーター (MMCO) の研究員募集と審査登録
- (10) その他、上記に関連する必要な諸活動



【一般研究員募集】 申込みは 2024 年 6 月末を締切とし、8 月中の審査

【一般研究員申請の条件と申請方法】 以下 3 資格の全取得者

- ① マネージメントマーケティング・コーディネーター
- ② ミドル認定講師
- ③ MMP®リーダー取得者(統括リーダーまでは必要なし)

【登録詳細】 <https://www.jmmp.jp/research/index.html>

紙の本と学ぶ映像 MMPコミュニケーション あなたの本を一冊創りませんか

あなたの本を一冊創りませんか

～自分流出版！自分の生き方本を有名書店に並べよう～

MMP コミュニケーションは、あなたの「本づくり」をお手伝いします。ジャンルは「商品開発」「営業・販売」「販売促進」「観光」「観光特産」「マネージメント」「マーケティング」分野に限ります。

【出版規定】

- ・A5版、約 160 頁(本文モノクロ)
- ・表紙デザイン(カラー)は協会規定のもの
- ・完全原稿(pdf データ)で書籍の規定の形で入稿できる方
- ・印刷用 pdf データにご対応いただける方



制作する本は、大手書店ならびにオンライン書店などに流通させる ISBN コード(図書バーコード)を正式に割り振り、著名なサイトで販売も可能です。

たとえば、MMP コミュニケーションの書籍が大日本印刷運営のオンラインショップ「honto」で紹介されています。お気軽にお問い合わせください。

【受付締切】 2026 年 6 月 30 日(水)

【詳細】 <https://www.immp.jp/mmmp/publication.html>

【お申込み】 <https://www.immp.jp/cgi-bin/makebooks/form.cgi>

【出版物紹介】 <https://www.immp.jp/mmmp/books.html>

※ MMPC 書籍は、大日本印刷運営のオンラインショップ「honto」でも紹介されています。

DVD 販売のご紹介

【ご案内はこちら】 <https://www.immp.jp/mmmp/dvd.html>

【ご案内はこちら】 <https://www.immp.jp/mmmp/Test-video-contents.html>



セールスステップ・販路コーディネータ協同組合は、販路コーディネータ・セールスステップ資格保有者に限らず、観光資格保有の方(観光士以上／観光特産士２級以上)も加入が可能な組合で、生涯学習できる場、交流できる場が広がる。

- ・MM 研究会:年 10 回程度、1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・MMP リーダー研修:年 2 回開催、1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・スキルアップ研修:1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・認定講師更新料:ミドル認定講師年間更新料 年間 5,500 円(税込)

法人格を持たない(青色申告事業者を除く)個人の方を対象とした制度です(ただし、個人組合員は、組合総会には出席できません)。申請書類等をご提出していただき、理事会の審査を経て登録となります。地域の制限はありません。

組合の年会費を払えば、協会主催の各種セミナー・講習会が無料になるため、多く参加すればするほどお得になるといったメリットもある。加入を検討する中級レベル以上の資格保有者が増えている。



セールススレップ・販路コーディネータ協同組合

(レップ販路観光コーディネーター協同組合)

日本レッププレミアム協会 (個人組合員)

プレミアム組合員になると、下記のセミナー・研修会に無料に参加できます。

- ・MMK研究会
(年10回開催、1泊あたり
参加費：3,300円税込)
- ・MMKリーダー研修
(年2回開催、7泊あたり
参加費：3,300円税込)

他にも・・・

- ・スキルアップ研修
- ・キャリアアップセミナー
(1泊あたり協会費：3,300円税込)
- ・認定講師更新料
(ミドル認定講師年間更新料 年間5,500円税込)

条件

中組以上の資格保有者

- ・日本観光視察士・観光視察士
- ・実業士・士以上
- ・日本セールスレップアドバイザー
- ・日本エクスパンションアドバイザー
- ・日本販路コーディネーター協会
- ・販路コーディネーター登録
- ・日本販路観光協会
- ・プロモーションアドバイザー
- ・日本観光士・観光士
- ・観光視察士登録

・事業開始している方
・他国に意向を出している方
・はこちら

真正組合員

日本観光視察士・観光視察士
入会費 48,000円
年会費 2,000円
(年会費は年会費一括払い)

各協同組合の加盟申請を行い、認可員として加入する必要があります。研修は必須です。オンラインで研修を受けられます。
申請書類等が送付されていきます。専任者の指導を受けて加盟申請。加盟認可待ちとなります。

入会費 20,000円
年会費 12,000円

専門家との出会いの場があり、
他業界との情報交換ができます。



レップ・販路CO協同組合

26

MMPグループ・ホームページ & 資格研修スケジュール

ご 案 内 ホ ー ム ペ ー ジ	
観光プランナー・観光士・観光コーディネーター資格	https://www.jtcc.jp
観光特産士会・観光文化協会	https://www.jtmm.jp
販路コーディネータ・MMCO資格	https://www.hanro.jp
営業士資格	https://www.nrep.jp
商品プランナー・商品開発士・商品開発コーディネーター資格	https://www.jmcp.jp
セールスステップ・販路コーディネータ協同組合	http://www.e-rep.jp
セールスステップ資格	http://www.jrep.jp
プロモーション資格	https://www.jsp.or.jp
2026 年下期全国一斉試験	
2026 年 11 月 8 日(日)	
日本観光士会資格認定研修プログラム ※最新はホームページをご覧ください	
<u>観光プランナー研修</u>	2026 年 7 月 20 日(月・祝) 研修+オンライン小試験 2026 年 9 月 9 日(水) 研修+オンライン小試験
<u>観光士研修</u>	2026 年 9 月 5 日(土) 研修+オンライン小試験 2027 年 4 月 4 日(日) 研修+オンライン小試験
<u>観光コーディネーター研修</u>	2026 年 9 月 13 日(日) 研修+オンライン小試験 2027 年 1 月 23 日(土) 研修+オンライン小試験
日本販路コーディネータ協会資格認定研修プログラム	
<u>販路コーディネータ 3 級研修</u>	2026 年 7 月 19 日(日) 動画研修+試験 2026 年 8 月 19 日(水) 動画研修+試験
<u>販路コーディネータ 2 級研修</u>	2026 年 9 月 6 日(日) 動画研修+試験
<u>販路コーディネータ 1 級研修</u>	2026 年 9 月 12 日(土) 動画研修+試験

日本商品開発士会資格認定研修プログラム	
<u>商品プランナー研修</u>	2026 年 7 月 26 日(日) 動画研修+試験 2026 年 9 月 27 日(日) 動画研修+試験
<u>商品開発士研修</u>	2026 年 9 月 5 日(土) 動画研修+試験
<u>商品開発コーディネーター研修</u>	2026 年 9 月 12 日(土) 動画研修+試験 2027 年 1 月 23 日(土) 動画研修+試験
日本セールスステップ協会認定研修プログラム	
<u>セールスステップ 3 級研修</u>	2026 年 7 月 25 日(土) 動画研修+試験 2026 年 9 月 26 日(土) 動画研修+試験
<u>セールスステップ 2 級研修</u>	2026 年 7 月 5 日(日) 動画研修+試験 2026 年 9 月 6 日(日) 動画研修+試験
<u>セールスステップマイスター研修</u>	2026 年 9 月 12 日(土) 動画研修+試験 2027 年 1 月 24 日(日) 動画研修+試験
日本販売促進協会資格認定研修プログラム	
<u>プロモーションプランナー研修</u>	2026 年 7 月 25 日(土)、7 月 26 日(日) 2日間 動画研修+試験 2026 年 9 月 26 日(土)、9 月 27 日(日) 2日間 動画研修+試験
<u>プロモーションプロデューサー研修</u>	2026 年 7 月 18 日(土) 動画研修+試験 2026 年 9 月 6 日(日) 動画研修+試験
<u>プロモーションコーディネーター研修</u>	2026 年 9 月 13 日(日) 動画研修+試験 2027 年 1 月 23 日(土) 動画研修+試験

観光エキスパート 2026 年 8 月号

2026 年 7 月 15 日発行

発行 (一社) 日本観光文化協会 <https://www.jtmm.jp/> <https://www.jtcc.jp/>

協力 セールスステップ・販路コーディネータ協同組合 (一社) 日本販路コーディネータ協会

お問い合わせ先 <https://jtmm.jp/contact/><https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi>

※掲載されているテキスト、画像等の無断転載を禁じます。